

## 地域社会と連携した水泳・水辺の諸活動

～ライフセービングから考える水泳の可能性～

徳島ライフセービングクラブ 代表  
源 純夏

## ライフセービングとは・・・？

「ライフセービング(LifeSaving)」とは、主に海や河川、プールなど浸水エリアで起こる水辺の事故を未然に防ぎ、また事故が起こった場合には救命活動に関わる公益性のある活動のことを言います。



日本の無合い、ライフセーバー=溺れた人を助ける救助員、というイメージがまだまだ一般的です。しかし、ライフセービングで一番重要視されていることは溺者の救助活動それ自体ではなく、“事故を未然に防ぐ”ということにつきます。

また、オープンウォータースイミング  
やトライアスロン競技会において、  
安全管理部門としてなくてはならない  
存在になっています。



(参考 一部抜粋)

日本水泳連盟  
オープンウォータースイミング(OWS)競技に関する安全対策ガイドライン

【2】競技者に対するガイドライン

1. (3)「競技者自身がライフセーバー」の意識

【3】主催者に対するガイドライン

3. (1) 必要な安全救護員と体制  
ライフセーバーは(競技中の)競技者20名に対して1名以上(状況に応じて増員することを含む)

- ① 泳ぐ技術と、救助技術は別物である
- ② 毎年、水による死亡事故が発生している
- ③ **水泳の可能性の拡大**



**吉野川フェスティバルにて開催！**

## 水辺の安全教室

2012年 7月28日(土) 11:00~

**参加無料 / 予約受付中** 29日(日) 13:00~

**毎年、全国で多くのかたが**

**水辺の事故で亡くなっています**

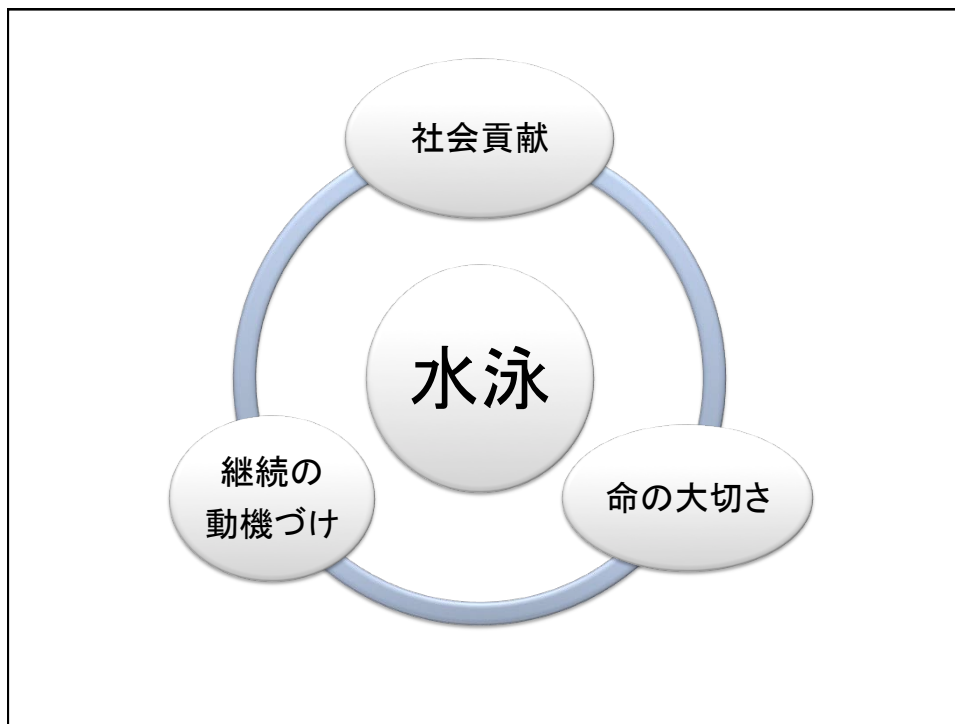
川や海には楽しいこともありますが、キケンなこともいっぱい。楽しく水と遊ぶために、なにがキケンか、どうすれば、そのキケンから身を守ることができるか。水辺の事故にあわないために、自分の命は自分で守るために知って欲しいことをみんなで体験しながら学びましょう。



- 場 所：吉野川南岸（吉野川フェスティバル会場）
- 対 象：幼児～大人まで遊泳可能な方ならなたでも。ただし、小学3年生以下のお子さまは保護者同伴での参加をお願いします。
- 参加費：無料 ●定 員：20名（大人・子ども含め）
- 準備物：水着・履（濡れてもよいもの）、履物（スニーカー、ウォーターシューズ、かかとのあるサンダルなど汚れ、濡れても大丈夫なもの）、タオル
- 申込み：メールにて受け付けております。tokushima.isol@gmail.comまで、お名前、年齢、当日連絡可能な電話番号をお知らせください。定員に達しない場合にのみ当日参加を受け付けます。※携帯のメールから申込みされる場合、上記アドレスの受信許可の設定を行ってください。

主催：徳島ライフセービングクラブ、吉野川フェスティバル実行委員会  
お問い合わせ：090-1038-3648（代表：源）

2013年  
7月27日 13:00~



**徳島ライフセービングクラブ**

<http://tokushima-lsc.com/>  
もしくは、  
フェイスブックで「徳島ライフセービングクラブ」を検索